

上井草駅周辺地区

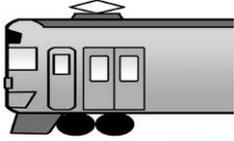
(下石神井四丁目)

第4号

まちづくりニュース

平成25年1月

【発行元】上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり協議会



～ まちづくり提言書(案)の説明会を開催します ～

上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり協議会では、地区のまちづくりの方向性として「まちづくり提言書(案)」を作成しました。つきましては、皆様のご意見を伺うため、右のとおり説明会を開催します。

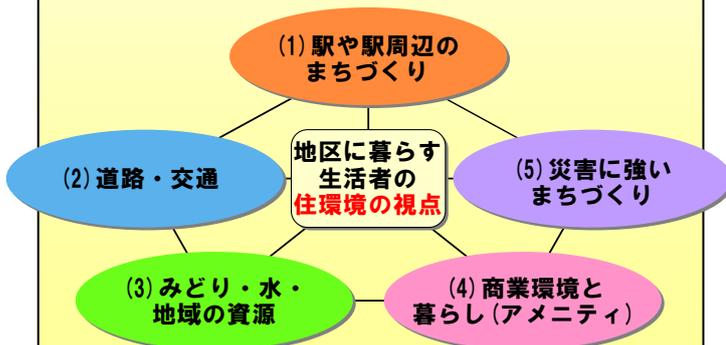
また、会場には当地区に関連するまちづくり資料も展示しておりますので、ご都合の良い日時にご来場ください。（※説明会は両日とも同じ内容です。）

まちづくり提言書とは？

上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）において、住民や事業者、行政が目指すまちづくりの考え方です。

協議会では、地区に暮らす生活者の住環境の視点から、以下の5つのテーマで検討を行いました。

- (1) 駅や駅周辺のまちづくり
- (2) 道路・交通
- (3) みどり・水・地域の資源
- (4) 商業環境と暮らし（アメニティ）
- (5) 災害に強いまちづくり



★説明会日時(両日とも同じ内容です)

2月1日(金) 19時～20時30分

(資料の展示⇒18時30分～20時40分)

2月2日(土) 14時～15時30分

(資料の展示⇒13時00分～16時30分)

★会場

下石神井小学校 多目的室(2階)

(練馬区下石神井2-20-18)

※お車でのご来場はご遠慮ください

★内容

①まちづくり提案書(案)の説明・意見交換

②まちづくり資料の展示



I

上井草駅周辺地区とまちづくり協議会について

1. 上井草駅周辺地区の位置と面積

「上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）は右図の範囲としており、面積約24ha、人口 3,183人、世帯数 1,714世帯になります。（平成25年1月1日現在）」



2. まちづくり協議会について

(1) 協議会設立の経緯

西武新宿線上井草駅は、練馬区都市計画マスタープランにおいて生活拠点に位置付けられ、交通利便性や商業サービスの向上、にぎわいの回復などを図っていくこととされています。しかしながら、踏切をはじめとする交通環境、商業環境、住宅環境、防災面などにおいて様々な課題を抱えています。

このような中で、平成20年6月に、上井草駅を含む西武新宿線（井荻～東伏見駅付近）が連続立体交差事業の事業候補区間に選定されました。この状況を踏まえ、練馬区は西武新宿線の立体化に向けた取り組みを進めるとともに、当地区のまちづくりの検討を始めました。

これを受けて、町会や商店街、公募の方々からなる32名で平成23年5月に上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり協議会（以下「協議会」という）を設立し、地区のまちづくりを検討しています。また、協議会では、平成23年9月に設立された杉並区の上井草駅周辺地区まちづくり協議会（以下「杉並区協議会」という）とも連携しながら、まちづくりに取り組んでいます。

(2) 協議会の活動

協議会では、これまで毎月定例の協議会および運営委員会を開催し、地区の現状把握、問題点や課題の抽出、まちの将来像、今後のまちづくりに向けての方向性や具体的な取り組み等について話し合い、検討を行ってきました。また、当地区内へのアンケート調査結果による地域住民の意向把握、「まち歩き」によるまちの様子の確認、鉄道立体化と合わせたまちづくり事例として石神井公園駅周辺地区の見学会等も実施してきました。当地区のまちづくりに関連する計画や法令等についても調査・研究を行い、検討の背景としています。

上井草駅周辺のまちづくりについては、杉並区協議会と連携を深めて利用者の立場から検討しています。石神井公園駅周辺地区の見学会開催にあたっては、杉並区協議会の皆様にも参加していただき、活発な意見交換を行いました。また、平成24年10月から12月の杉並区協議会に参加させていただき、「駅や駅周辺のまちづくり」などに関して一緒に検討を進めてきました。

この度、協議会では「まちづくり提言書（案）」を作成しましたので、説明会を開催して地区の皆様からご意見を伺う機会を設けました。

今後は、説明会等でのご意見を踏まえてまちづくり提言書を取りまとめ、練馬区へ提出する予定です。

II

まちづくりに関する提案

1. まちの将来像

武蔵野の面影を残す豊かで美しい緑に囲まれ、住宅街としての住環境が整備された、買物や通勤、子育てにも便利な、人に優しく暮らしやすいまち

2. テーマ別まちづくりの方針

●『駅や駅周辺のまちづくり』（利用者の立場からの検討）

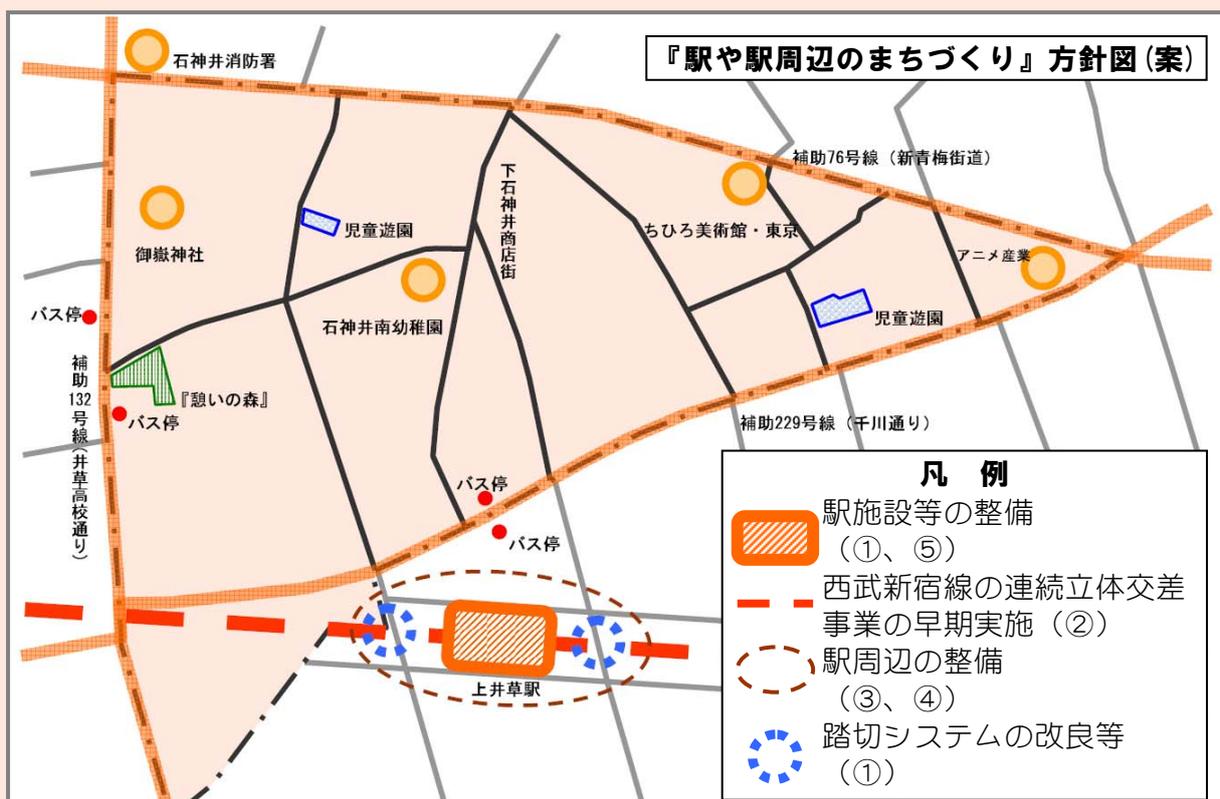
【地区の課題】

- (1) 上井草駅は上下線ホームの横断施設がないうえに、開かずの踏切に分断されているため鉄道利用が著しく不便である。このため、踏切のくぐり抜けによる死亡事故も発生している。
- (2) 駅前広場が整備されていないため、バスやタクシーへの乗り換えが不便であり、かつ歩行者が憩えるスペースもない。
- (3) 駅周辺の道路や踏切内の歩行空間が不十分で、歩行者や車いす利用者が通行しにくい。また、バス停までの点字誘導ブロックが整備されておらずバリアフリー対策が遅れている。
- (4) 自転車利用の気運の高まりにあわせた利便性の高い駐輪場がなく、レンタサイクルシステムも導入されていない。
- (5) 駅施設等は誰にも使いやすいものであるとともに、周辺の街並みに調和したものであることが求められている。



【維持・改善の方針（○数字番号と図中の番号は対応）】

- ①緊急的な安全対策と即効的な利便性向上として、上下線ホームの横断施設の整備や踏切システムの改良等を求める。
- ②鉄道による南北分断等を総合的に解消するため、西武新宿線連続立体交差事業の早期実施を求める。
- ③バスやタクシーに乗換えやすい駅前空間の整備と駅周辺の面的なバリアフリー化を進めて、誰もが快適に移動できるよう求める。
- ④駅周辺の整備にあわせて利用しやすい駐輪場を整備し、練馬区や杉並区の拠点地区で乗降できるレンタサイクルシステム導入の検討を求める。
- ⑤駅施設等の整備の際には、誰もが快適に利用できる施設とし、周囲の街並みと調和したデザインとするよう地域住民や利用者の意見を聴くことを求める。



● 『道路・交通』

【地区の課題】

- (1) 千川通りと井草高校通りのクランク交差点は危険かつ交通ルール等がわかりにくいなど、当地区特有の交通問題がある。
- (2) 幅員 4 m 未満の道路や隅切りの確保されていない交差点が多く、安全な通行や見通しの確保、緊急車両の通行に課題があり、また、車いす利用者や高齢者が安心して通行できない。
- (3) 周辺の道路事情により現状でも区内への通過交通の流入が多く、大型店舗等の出店による新たな交通問題の誘発が懸念されている。
- (4) 将来の鉄道立体化に伴う千川通りの拡幅整備や、踏切解消による交通量の増加等、新たな交通問題発生への懸念がある。



【維持・改善の方針（○数字番号と図中の番号は対応）】

- ① 井草高校通りと千川通りのクランク交差点では、交差点改良されるまでの間、特に朝夕の渋滞時を中心に適切な交通整理・誘導が望まれる。
- ② 狭い道路は建替え等に合わせて幅員 4 m 以上に改善し、隅切り整備にも協力して見通しを確保する。また、道路内に残る段差や側溝・縁石等無くして、誰もが移動しやすい道路とする。
- ③ 主要生活道路は、建替え時に沿道住民の協力のもと幅員 6 m に拡幅し、歩行空間（カラー表示等）を創出する。曲がれない鋭角な交差点も同様に改善する。これにより、緊急車両の通行や消防活動を可能にして地区の防災機能を高める。
- ④ 私道の公道化促進を、地区をあげて取り組んでいく。
- ⑤ 住宅地の道路における無電柱化の実現を目指す。
- ⑥ 東京外かく環状道路や地区周辺の幹線道路等の整備を進めるとともに、地区外周の都市計画道路の交差点では右折レーン設置等の改良により、渋滞を解消して区内への通過交通の流入を抑制するよう求める。
- ⑦ 主要生活道路や特に通過交通の流入が多い路線では、自動車利用も考慮しながら広く周辺住民の協力を求めて交通規制等を検討する。
- ⑧ 鉄道立体化に伴う幹線道路の整備や交差点の改良では、交通量等交通環境とその効果や影響について調査を行い、地域への十分な説明を行うとともに適切な環境対策を実施するよう求める。
- ⑨ バスルートの見直しやダイヤの延長などにより、バス利用の利便性向上を図るよう求める。



● 『みどり・水・地域の資源』

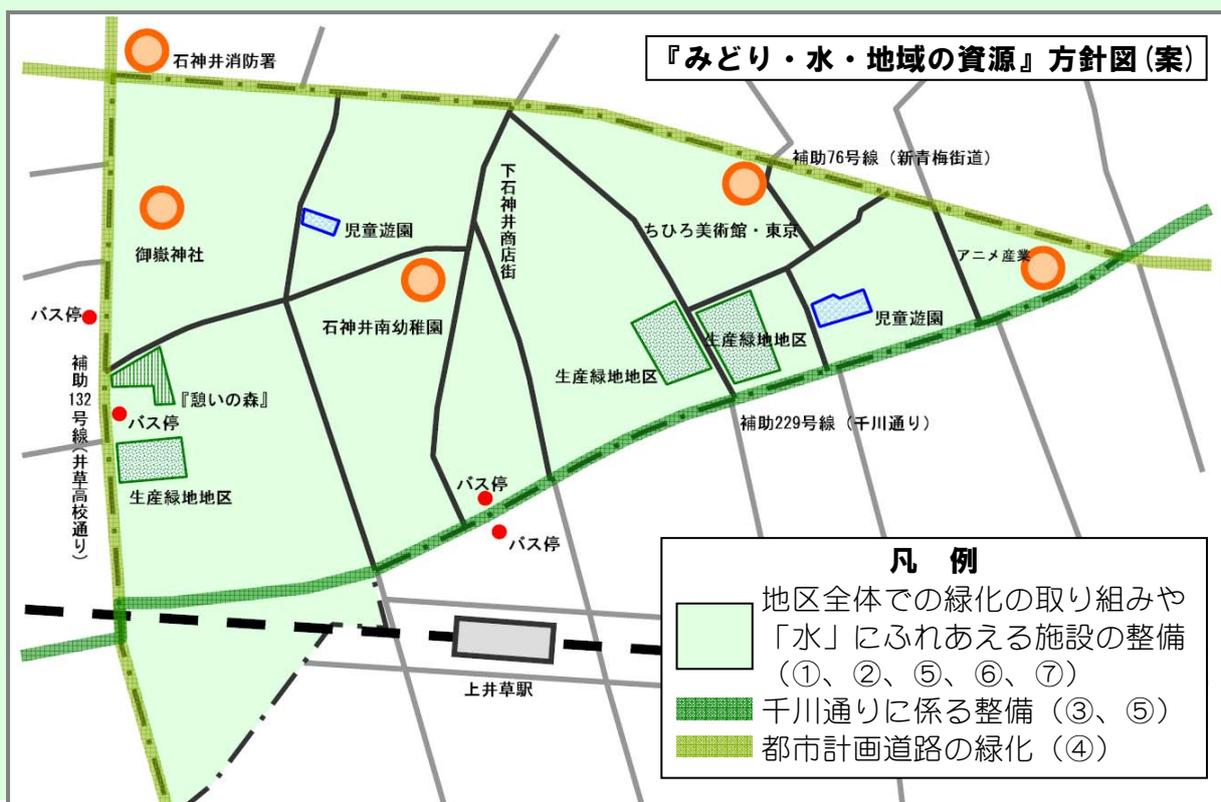
【地区の課題】

- (1) 地区内には公共の公園・緑地等が少ない。
- (2) 減少しつつある敷地内のみどりを増やし、育てることが必要である。
- (3) 千川通り等地区周辺の幹線道路では、みどりを充実させることが望まれている。
- (4) かつてこの地区を流れていた千川上水や、ちひろ美術館・東京、アニメ産業、御嶽神社、石神井南幼稚園等、地区の財産を活用したまちづくりが望まれている。



【維持・改善の方針（○数字番号と図中の番号は対応）】

- ①地区内のまとまった用地を取得して公園・緑地とし、豊かなみどりを創出・育成するよう求める。
- ②屋上緑化や壁面緑化、ブロック塀等を生垣や緑化フェンスにするよう努めて、積極的に敷地内の緑化を進めていく。
- ③環境対策として、千川通りの豊かなみどり（街路樹や植栽帯）の適切な維持・管理やさらなる充実とともに、ゴミが捨てられにくい植栽帯の幅や位置、樹種とその統一について、地域住民の意向も踏まえて再検討するよう求める。
- ④井草高校通りおよび新青梅街道は、街路樹等の道路内緑化が乏しいため、今後の道路整備等にあって緑化を充実させるよう求める。
- ⑤かつての千川上水を記憶にとどめるような「碑」や、「流れ」をイメージできるような施設の整備を求める。
- ⑥公園等を活用した「水」に触れ合える施設等を整備し、住民の協力とともに地区のシンボルとするよう求める。
- ⑦地区内のみどり、公園、歴史資源、産業等の拠点・資源等を連携させた地域の活性化を図る。あわせてこれらの地域資源の知名度の維持・向上・PRにも努める。



●『商業環境と暮らし（アメニティ）』

【地区の課題】

- (1) 地元や駅前に必要なものが揃わない、必要なサービスが受けられない。
- (2) 買物空間の不足や交通事情のため、地域内で安心して買い物やサービスが受けられない。
- (3) 少子化・高齢化が進む中、地域内で子育て世代や高齢世代への十分なサービスが提供されない。
- (4) 練馬区と杉並区の区境に位置しており、地域内に公共のサービスが不足している。



【維持・改善の方針（○数字番号と図中の番号は対応）】

- ①地域の資源を活用したにぎわいのあるまちづくりを進め、地域を活性化する。
- ②安心してゆっくりと買い物ができる、商店街の空間をつくる。
- ③周辺住民の合意も得て、車の走らない安全で安心な商店街の交通環境をつくる。
- ④商店街のユニバーサルデザイン化（※）を進め、誰もが安心して買い物ができる環境をつくる。
- ⑤障害者用トイレなどの便利施設を増やして、誰もが利用しやすい商店街を目指す。
- ⑥駅周辺に託児所や老人福祉施設を整備・充実させるよう求める。
- ⑦地域住民の交流施設等、地域の人々の暮らしを支える施設（公園、図書館、スポーツ施設など）の利用や行政サービス授受など生活利便性においての不利益を解消するよう求める。

※ユニバーサルデザイン：年齢、性別、言語、個人の能力等にかかわらず、はじめからできるだけ多くの人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方



●『災害に強いまちづくり』

【地区の課題】

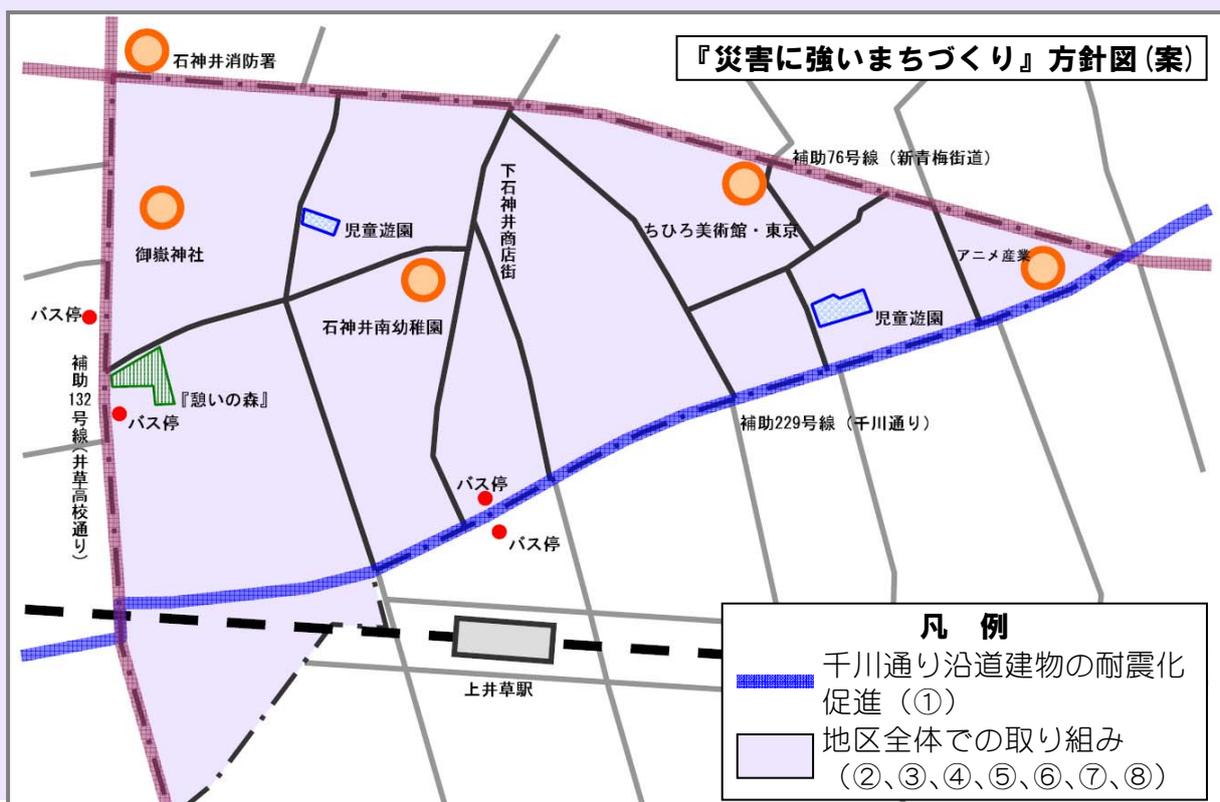
- (1) ブロック塀や構造物、旧耐震基準時に建てられた建物が存在しており、震災時に倒壊の恐れがある。
- (2) 災害時の飲料水や生活水の確保に不安がある。
- (3) 災害時対応トイレの確保に不安があるうえ、地区周辺の避難場所、防災関連施設の位置等が認識されていない。
- (4) 災害時に延焼危険性の高い建て詰まった街並みが存在する。



【阪神・淡路大震災での例】

【維持・改善の方針（○数字番号と図中の番号は対応）】

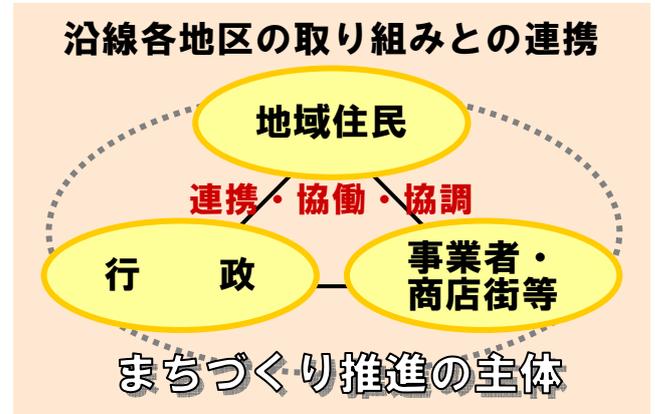
- ① 鉄道立体化にあわせた整備等の際に千川通りを緊急輸送道路として位置づけ、沿道建物の耐震化を促進する。
- ② 道路に沿ったブロック塀等を、生垣や緑化フェンスにして震災時の倒壊を防止する。
- ③ 住宅地における道路においても無電柱化の実現に努め、災害に強いまちを目指す。
- ④ 飲料水として地区内の公園等に防災井戸等設置の検討を求めるとともに、生活水としてミニ防災井戸の指定を地区で推進していく。
- ⑤ 防火貯水槽の設置には、地区で協力して整備する。
- ⑥ 地区内に災害時対応トイレを確保するとともに、防災関連施設や設備の充実・適正配置を図りつつ日頃から防災意識を高めて情報を収集して備えておく。
- ⑦ 「自助」、「共助」、「公助」による災害対策を推進し、地区の防災力を高める。
- ⑧ 住環境や防災面に影響するような敷地の細分化を防止する一方で、若い世代や子育て世代が移り住みやすい価格帯の住宅や集合住宅などを増やし地域の活性化を図る。



3. まちづくりの推進

上井草駅周辺地区のまちづくりを推進するためには、地域住民、商店街、事業者、行政などが協働で取り組んでいく必要があります。本提言書では、その取り組みについて「駅や駅周辺のまちづくり」、「道路・交通」、「みどり・水・地域の資源」、「商業環境と暮らし(アメニティ)」、「災害に強いまちづくり」の5つの視点からアイデアを提言します。今後は、「テーマ別まちづくりの方針」を具体的に進め「まちの将来像」の実現に向けて努めていく必要があります。

また、地区のまちづくり推進にあたっては、西武新宿線沿線各駅のまちづくりとの連携を図りつつ、まちづくりの骨格となる事業（西武新宿線の立体化、都市計画道路の整備等）の進捗状況を見据えながら、効果的と考えられる取組みを選定し、各主体相互の連携・協調・協働を進めて、事業の促進や事業効果の最大化に努めることが望まれます。

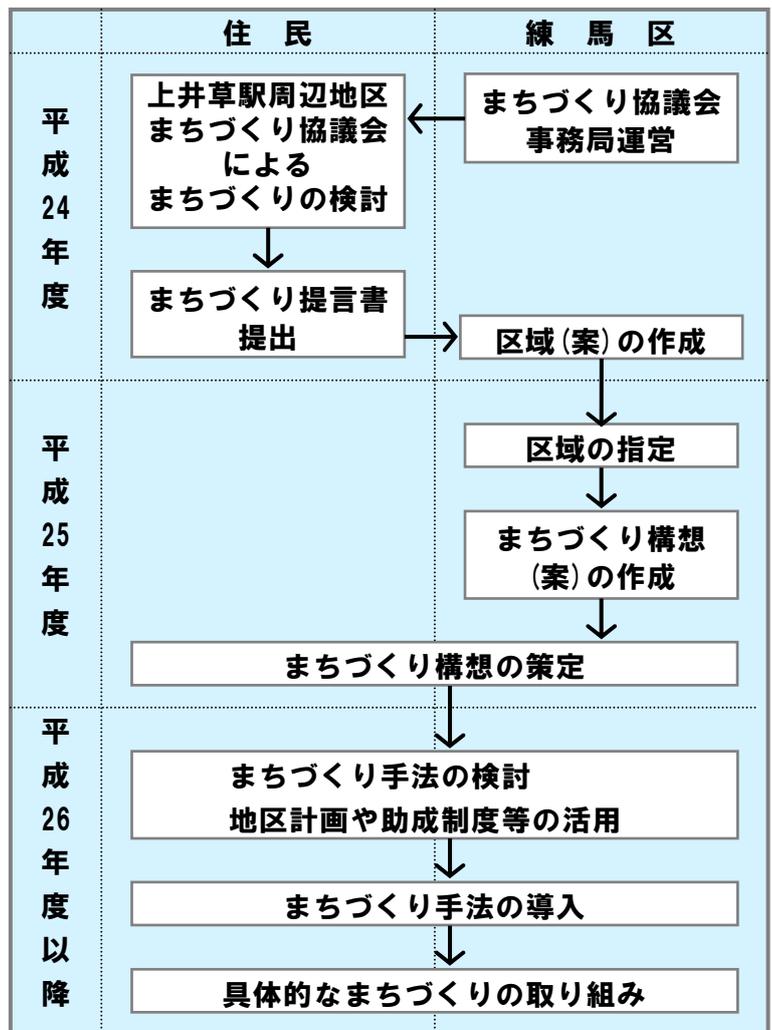


III 今後のまちづくりの進め方

まちづくり協議会では、検討した「上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり提言書(案)」について地域の皆さんからご意見をいただき、平成25年3月に「上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり提言書」（以下、「提言書」という）として取りまとめ、今後のまちづくりの方向性として練馬区に提出する予定です。

練馬区には、提言書や地域のご意見および関連計画などを踏まえて「まちづくり構想」を策定し、当地区のまちづくりを進めていかれることを要望します。

よりよいまちづくりの実現には、行政や事業者だけではなく、私たち住民が主体となってまちづくりを推進していくことが必要です。今後とも、皆さまのご協力をいただきながら、安心して末永く住み続けられるまちをつくっていただけるよう取り組んでいきたいと考えています。



問合せ先

上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）まちづくり協議会事務局
練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 西部地域まちづくり課
電話：5984-1278（直通）